

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

64

人スマートロボットが杭州市で導入された状態な生活への移行が消毒を行い、パトロー後、中国全土に普及した。中国全土に普及した。中国全土に普及した。

はハイテク分野に特化した新たなデジタルインフラ構築への超大型投資を表明した。2018年から実施されてきたデジタルインフラ構築への超大型投資を表明した。2018年から実施されてきたデジタルインフラ構築への超大型投資を表明した。

コロナ収束貢献

昨年末に武漢で初めて確認された新型コロナウイルスは、その後中国各地でも流行した。中国各地でも流行した。

人工知能(AI)やビッグデータ(大量データ)分析技術が導入された。個人コードの提示など多くの市民が日常生活にオンラインへと切り替えられた。

「新基建」を推進 中国各地でも流行した。中国各地でも流行した。中国各地でも流行した。

パンデミックの早期収束に貢献したのは、中国のデジタルインフラだったと言われている。感染症対策には、

科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(海外動向ユニット) 吉田 裕美

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得後満期退学。専門は移民研究及び社会言語学。岡山大学で講師、ユニセフ東京事務所、在ノルウェー日本国大使館、国連大学勤務を経て、20年から現職。

中国、デジタルインフラ構築

とされる。



早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得後満期退学。専門は移民研究及び社会言語学。岡山大学で講師、ユニセフ東京事務所、在ノルウェー日本国大使館、国連大学勤務を経て、20年から現職。

新インフラ投資分野	投資額
5Gインフラ	2兆5,000億元(38兆円)
AI	2,000億元(3兆円)
ビッグデータセンター	1兆5,000億元(23兆円)
IoT	6,500億元(10兆円)
超高压送電システム(UHV)	5,000億元(8兆円)
高度道路交通システム(ITS)	4兆5,000億元(69兆円)
電気自動車用充電スタンド整備	900億元(1兆4,000億円)

中国電子情報産業発展研究院(China Center for Information Industry Development<CCID>)「新基建白書」より

投資に重点が置かれて15年に発表された中国の製造業の政策「中国製造2025」の重点分野は、第5世代通信(5G)、AI、ビッグデータセンター、IoT(モノのインターネット)のインフラ(金曜日に掲載)